



No.58

発行／融通念佛宗総本山  
大念佛寺  
大阪市平野区平野上町1-7-26  
TEL.06-6791-0026

# 一切のいのち”に感謝 施餓鬼のころ

融通念佛宗務総長 吉村 暉 英



## 施餓鬼のいわれ

お盆の季節になると、寺々では施餓鬼がとまります。

施餓鬼というのは、六道（生前の業因によって受ける六つの迷いの世界）の一つである餓鬼道において苦しむ亡者に、食物や水を手向けて供養する法会のことをいいます。食欲さかんな者、施しの心がなく、もの惜しりする者がおちる世界が餓鬼道です。

この法会は、『救拔焰口餓鬼陀羅尼經』の説に基づくものです。焰口餓鬼はやせかけて、口から火を吐き頭髪は蓬のように乱れ、喉は針のように細く、しかも飲食しようとする、食物は炎になっってしまうため飲食ができず、常に飢えと渇きに苦しむのです。

仏弟子の阿難尊者がその苦しみを救う方法をお釈迦さまに問い、



始めたものとされています。しかし施餓鬼はいつの頃から、本来の餓鬼を救う法会という趣旨を離れ、広く先祖供養の大切な法要として定着してきました。すなわち亡き人の得脱（苦を離れて安楽を得ること）に主眼が置かれるようになりました。

## 永代祠堂施餓鬼のこと

先祖供養としての施餓鬼は、主に永代祠堂施餓鬼として修されるようになりました。施主は永代祠堂料を納入して、毎月の忌日、あるいは毎年の祥月命日に法要を営んでもらいます。祠堂とは檀家の先祖諸霊を祀つてある堂のことで、位牌堂、持仏堂などがこれに相当します。しかしほとんどの寺院では、本堂がこれを兼ねています。要するに

先祖の霊位をお堂で祀り（位牌や帳簿）、供養していただくために、永代経として布施を行い、寺ではそれによって施餓鬼をつとめます。実際は年数回にまとめて行うことが通例です。また今では春秋彼岸会にこれを併せて行うところもあります。形態は異なっても、亡き人への追慕と、限らない敬いと感謝を捧げて営まれるのが先祖供養の施餓鬼であります。

## 法界施餓鬼とは

お盆をはさんでその前後に寺々で営まれる施餓鬼は、法界施餓鬼であります。

元来、施餓鬼の時期はお盆と関係ないので、亡き人、亡き生物の霊を供養するという点において、先祖供養のムード一色に包まれているお盆の時期が最もふさわしいものとして定着したと考えられます。

ここで法界というのは、この宇宙全体の存在を真理のあらわれとみる仏教の世界観のことです。すなわちこの世界には無駄なもの、

どうでもいいものは何ひとつなく、すべてが何かの役に立つて存在しているものばかりということなのです。塵ひとつの中にも尊い仏さまの生命が宿っているのと同じです。それを人間の身体に例をとると、一筋の毛髪、一片の爪、一滴の涙、汗や垢に至るまで、そこには人間の生命が宿っていて、どれもが尊い光を放っているものばかりということになるわけです。

このような見方で世の中のすべての存在を眺めてみると、



私たちがとりまく一切のものは、私という一つの生命体を生かしてくれるものばかりである。いやそれどころか、私たちの生命そのものであるという感慨を持つことになり。そして感謝と畏敬の思いが起こるはず。これを法界観というのです。なかならず動物、特に畜産物、魚貝類などを考えてみてください。人間はそれを食用にし、観賞用に使っています。それらのものに大きな犠牲を強いて自分の生命を保っているにもかかわらず、人は自責の念もなく、感謝の気持を持つことも少ないのです。

仏教で殺生戒というのがありますが、これは生き物を殺してはいけないということに解釈されていますが、殺生戒とは生き物を殺さなくては生きていけない人間の性に、深い自責と懺悔（反省）の念を持つことなのです。

法界施餓鬼は実にこの心です。宇宙に満てるあらゆる生命（これを三界万霊といいます。）に限りない感謝を捧げ、それを供養することが法界施餓鬼であります。

## 施餓鬼のおしえ

現今、法界施餓鬼に付随して、

各自の先祖諸霊の追善を修するの  
が通例となっていますが、それを  
「添え施餓鬼」「次施餓鬼」とい  
うのです。  
施餓鬼には次のような大きな意  
味合いがあることをここに銘記し  
ておきます。

- 一、すべての「いのち」のおか  
げに感謝し、報恩のまこと心を捧  
げること。
- 二、今あるこの身の幸せを自覚し、  
ご先祖さまに手を合わせること。
- 三、慳貪（貪りとももの惜しみ）  
の心を離れ、施しの心、与える喜  
びを育むこと。

**開宗900年記念 大法要**  
**大通上人300回御遠忌**  
平成27年5月1日～5月7日



# 『融通聲明要集』出版される 編著者の吉井良久師に聞く

聞き手：法覚寺住職 山田陽道

いつもお世話になっております。このたびは『融通聲明要集』のご出版おめでとうございます。

作業中に判ったことですが、宗上人の遷化一五〇年にあたる記念すべき年でもあったので、途中からより作業に力が入りました。

編集作業に臨んだと思います。

Q 出来上がった今のお気持ち  
を聞かせたいと思います。

A 本書が讃師にとって、さらには融通念佛宗の方々にとっても活用できるような資料になればいいと思います。また、声明習礼に役立つと、宗外の僧侶、更には関心のある一般の人にも有効な声明学習参考資料のようなものになればという気持ちです。



Q 吉井さんがこのような本を準備されているということに関しては、具体的なことはどういったような動機でいつ頃から出版の準備に掛かれたのでしょうか？

A 直接的な動機は、讃師の若い人たちが『融通聲明集』の解説が難解でなかなか読み辛いという話を聞かされ、なんとか理解しやすい解説書のようなものが出来ないかという願いがあったこと。また博士にもっと馴染みたい、慣れる必要があるといった希望や意見もあり、博士と回旋譜が同時に見られるようなものを作りたい。もう一つは、平成二十一(二〇〇九)年という年は夏野義常師著『融通聲明集』発刊五十年、さらに良忍上人の来迎院建立九〇〇年に当たる年であり、『融通聲明集』に関する内容で良忍上人にも通じる記念のもの、学習資料のようなものができればと考えました。編集

さらにもっとも、以前から、良忍上人さらには融通念佛宗のことを、広く宗派を超えて全国区で知ってもらえるようになればという思いが常々ありました。大念佛寺は「万部会」で有名ですし、又「なにわ七幸」「神仏霊場会」「百寺巡礼」などで最近知られるようになりました。また、まだまだいろいろな宝物がある。「良忍上人と声明」「京都大原と良忍上人」「良忍上人と絵巻文化」などは普遍的で、しかも我宗に由来する、我宗が誇りをもって普及できる特徴的なテーマだと思えます。とりわけ声明については、現代社会に継承されて静かなブームも起こしています。また一方で、能楽・文楽・歌舞伎といたって日本伝統芸能成立に貢献してきている歴史もあります。声明実唱はもとより、もう少しよく声明学習をおきたい思いがもともとあり、その思いが高じてこの

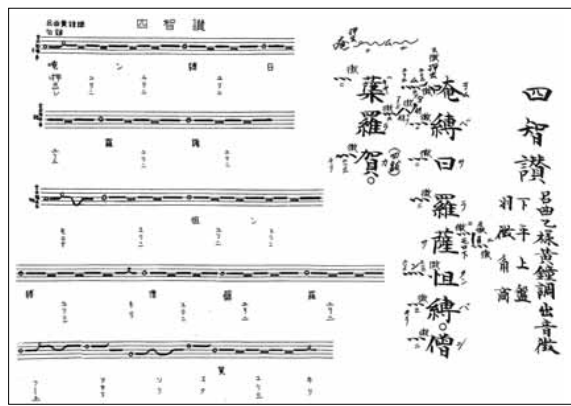
Q 本書の編集に当たって、一番ご苦労なされた点、気を配られた点はどうなところでしょうか？

A 目次づくりと内容構成ですね。『融通聲明集』の各章から重要事項やキーワードを選びながら、声明というものをできるだけ幅広い視野や角度から学習することができるようになりたいと思いました。5W1Hの設問を念頭に置きながらキーワードを選び、目次を構成しています。

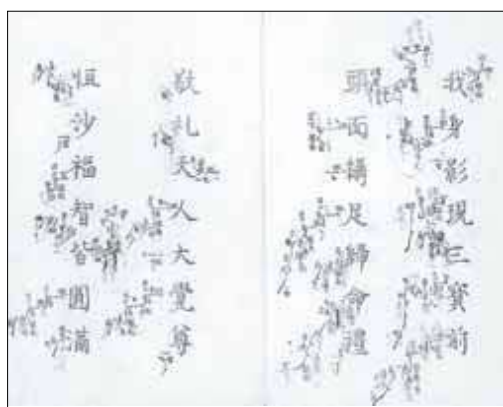
声明学習の第一段階の資料としては、これ以上視野を広げることにも必要であるし、反対に掲載した項目の一つでも欠けるとバランスが欠けて物足りなくなるといふように、「過不足のない羅針盤的な内容」を目指して編集しました。

Q 『融通聲明集』の参考書としての目的で、「声明の学習」ということを強く意識して編集されたように思いますが、この本を用いて学習されようとするこれから若い人たちに吉井さんが期待されるようなことがあればお聞かせください。

A 博士によって声明をお唱えするということ。また、『融通常用聲明(CD収録十五曲)』の声明曲(『融通聲明要集』にも収録)



博士・回旋譜 照合史料より



『大源聲明集』より

この二つの掲載により、もともと企画していた冊子の性格が変わりました。「史料を含む経本」になつてしまったといつていいでしょう。一方、編集面では少し遊び心を入れていきます。「十聖」「二十五菩薩」「百八煩惱」に因んで、全体を十章・二十五項・百八頁(大源聲明集を除く)の構成としました。さらに第九章「声明の楽理」は声明実唱の重要部分でもあり、「ア」から「ノ」まで『融通聲明集』の裏面にある「声明の意義と組織について」を二十五項目に割って整理説明する工夫をしました。

Q 内容に関わるのですが、良忍上人直筆とされる「四智讃」の拓本について、そのいわれや、拓本になっている経緯が今までもう一つよく理解できていなかったのですが、今回明確に理解できました。ただ、その元であり、大源山(本山)にあったとされる紺紙金泥の原本は現在本山には残されていません。また、この音恵という人物について、一連の経緯についてどのようにお考えでしょうか？

A 拓本になった経緯と現状は今明らかになったところですが(本篇五十一〜五十四頁参照)。原本が本山に残されていないのは残念ですね。火災焼失などが考えられます。「音恵」は血脈譜等に名前がなく分かりません。「音(声明を唱える力)に恵まれてる人」という一般名詞の読み方があると山野良子さんはその著『融通念佛縁起絵巻 各諸本の研究』の中でおっしゃっております。

Q 参考四に収録されております多紀道忍師筆の「開祖聖應大師大遠忌法要次第記」について、注目すべき点があればお聞かせ下さい。

A 融通念佛宗で現在殆ど修されなくなった各種法要が、開祖聖應大師七百五十回忌ご遠忌法要において十一種類もの法要次第を用意して二週間に亘って厳修されていきました。しかもすべての法要次第の中に声明曲が組み込まれて



右から二人目が吉井師

Q 『融通聲明要集』の特徴やよくできた点と自慢できるような内容は何ですか？

A なんとといっても宗淵著『大源聲明集』の全巻まるごと実物大での収録、また多紀道忍師直筆の「開祖聖應大師大遠忌法要次第記」収録はこの上ない特長であり、編集者の喜びの極みです。



次打行鐘  
次導師兼僧入堂次及行装未別記  
次樂 奠供  
次總禮 伽陀  
次樂  
次導師寄札盤下導師取香呂三度置  
香呂盤盤成儀  
次香丁取香呂踏踏了  
次三寶禮  
導師出三心起敬礼成儀同音誦誦起法  
界佛居下三礼同儀  
次住持文  
導師誦出三心起敬礼成儀同音誦誦起法  
普導師唱之礼卷了  
次導師降札盤取香呂三度置 香呂盤盤成儀  
次花師敬礼常任三寶唱  
次花師敬礼常任三寶唱  
次花師敬礼常任三寶唱  
師散花揖若平座

多紀道忍直筆の法要次第記より

Q 別冊を添付された事情と別冊に対する思いをお聞かせ下さい。また、今後、続編や改訂版を出されるような構想はお持ちでしょうか。

A 平成十六年、十九年開催の「京都大原良忍物語」関係資料の保管と『大源聲明集』収載に伴う回旋譜の補完のために別冊を追加いたしました。

今後のことですが、別冊は続編が出せればと思っております。ひとつは、融通声明研究会など今後の声明研鑽のなかで研究の成果物が出てきた場合。もうひとつは、『融通聲明要集』（十一、十二頁参照）に良忍上人に因む声明の伝説を四例紹介しておりますが、「音無の滝」伝説は先の「京都大原良忍物

# 人生もまた、劇場

隆興寺住職 村井 實 道



自分という人間は、この世にたった一人の存在です。たった一度の人生を、今日という一日を積み重ねて生き、他人との一期一会の中で成長する。母から二人で誕生し、死ぬ時も一人です。するとまさに「人生は、一から始まり一に終わる。」と、いっても過言ではありません。

坐禪堂・日月庵庵主の松原泰道師は、師匠の父から「一つぶの黒い玄米も、時間をかけてつき続けると美しい真っ白い米になる。多くのことから長い間ゆっくりとつきこんでもらって一人前になりなさい」と、子どもの頃に教えられたことが忘れられないそうです。

さて、正念場とは、演劇の大切な場面をいいます。人生もまた劇場です。自分の人生は自分の劇場

であり、自分が主役なのです。「たった一度の人生」という名の人生劇場の主役が自分ですから、たびたび正念場に立たねばなりません。一世一代の時だから良い結果を出したいと願います。しかし必ずうまくいくとは限りません。なぜなら、くやしいなと思えますね。仏様は、それは「縁」がさせるのだと教えて下さいます。ひとつのことが成功するには、自分の努力・周囲の援助・自然の恵みの三つの力が一つにならなければならない。

語」となりました。今回は「京都大原良忍物語（その二）」として「獅子飛石」伝説の狂言戯曲化を進めています。来年の五月三日「万部会融通声明コンサート」での公演に目標を置いていますが、間に合って実現すれば、（その二）として別冊記録保管を考えています。

聞き手感想：この本は声明から仏教を捉えて、声明の解説書というところに止まらず、教学的要素や史学的要素も加えられており、百科事典のように使えますが、順番に読んでいくのも充分に面白いと思います。

より多くの方に本書が愛読され、『融通聲明要集』によって自分が最大の努力をすることは言うに及ばず、人間に生まれさせていただいた縁に感謝して、自分もまた良い縁を結んでゆくと、まわりの力強い援助も得られて、おのずと良い結果が出るとお教え下さるのです。

ここに一つぶの種がある。土に落ちて芽を出して、雨が降り太陽が差し、やがて大きく成長して花が咲き実をつける。地面に落ちたからこそ芽を吹いた。落ちた所がアスファルトの上では芽は出ません。「縁」とは、そういうものです。

同じこの世に命を受けても、人間に生まれてくる確立は二十二兆分の一。とても少なく、他は動物や植物なんだそうです。だとすると、この世に私たちが生まれてこられるのは、深い導きの縁を持っているのです。

皆さんは、神仏に手を合わせて拜んでおられる時、何をお願いされますか？

たいい ああして欲しい、こうなって欲しいと 自分の要求を

●JR大和路線平野駅から南へ歩いて5分  
●大阪市バス平野駅前、近鉄バス平野元町6丁目下車すぐ  
●地下鉄谷町線平野駅①②出口から北へ歩いて8分

大阪市平野区平野上町1-7-26  
電話 (06) 6791-0026

インターネットで大念佛寺の情報をご覧下さい。

<http://www.dainenbutsuji.com/>

願っておられるでしょう。しかし本当は、「神仏のお力をもって良い縁が結ばれますように」と、拜むのがすじみちなのです。

自分という人間は たった一人ですが、自分一人では長い人生を生き抜くことは出来ないのです。

合掌



- 一、讃師：声明を専門に唱える役目を担う僧侶
- 二、博士：声明の楽譜、またその記号
- 三、回旋譜：声明の旋律の動きを線描で表記するもの
- 四、宗淵上人：『大源聲明集』著者



祈願成就の法要

法要終了後の五月十一日には、青年会僧侶によるぬりえに書かれた皆様の願いごとが叶う様に祈念した祈願成就の法要を本山にて執り行いました。普段は法要の導師をする機会はずり無い私が、瑞祥閣で良い緊張感を持って勤めさせていただきました。

ぬりえの準備、開催期間、法要と無事に終えることができましたのも、ひとえにぬりえを楽しんで願いごとを真剣な眼差しで書いていただいた皆様、様々な場面でご協力、お気遣いいただいた方々、青年会会員の一致団結の力のお陰様だと、深く感謝いたします。

ぬりえ用紙は青年会ホームページ <http://yuzusei.com> よりダウンロードしていただけますので、また来年も一枚一枚が世界に一つしかない素晴らしい作品と、皆様のお願いが菩薩様に届きますよう、たくさんのぬりえを書いていただけるのを青年会会員一同、心よりお待ちしております。

平成二十二年度より融通念佛宗青年会の新会長をさせて頂いたたく事になりました。融通念佛宗青年会として、各法要・行事への参加や、青年僧として必要な仏教についての講習会、またそれ以外でも様々な活動を通じて融通念佛宗や様々な方の役に立てる様に頑張りたいと思っています。

また今年も本山大念佛寺において、五月の万部法要期間中に毘沙門堂横の休憩所で、恒例となりました「菩薩様ぬりえ」を展示いたしました。休憩所の壁全体に貼り出す程の、本年度は千四百四十一枚ものぬりえを展示することが出来ました。万部前から書いて届けていただいた方、期間中に書いて下さった方々のぬりえを順次貼らせてもらいまして、ありがとうございます言葉を掛けてもらったり、どんどん増えていくぬりえを毎日見ていると、大変嬉しく感謝の念で胸一杯になりました。

## 融通念佛宗青年会より

融通念佛宗青年会会長 福山 明 宏





### 末寺巡礼 ⑬ 枚方・交野の寺々

法蔵寺住職 大東 良清

#### 月秀山 松寶寺

交野市私市一丁目十二番一  
松寶寺は元々、その裏山の中腹にある「獅子窟寺（高野山真言宗）」の塔頭の一つであったが、大坂夏の陣（一六一五年）の前に焼き払われ、江戸時代享保年間に月秀上人によって再興され現在に至っている。初めは「松寶院」であったのが、月秀上人以降は上人の名前を山号とし、「融通念佛宗 月秀山松寶寺」となった。

当時の本堂は堂庫裡であったが、嘉永五（一八五三）年、義本上人代に至り本堂の大改修を行い、この時以来庫裡を別棟とした。境内にある地藏堂は寛政年間、第五世白玄上人により建立され、のち平成二十一年に老朽化に伴い新築さ

#### 遍照山 光明院

交野市倉治六丁目十八番十一号  
北河内三十三か所観音霊場の一番札所。

天正二（一五七四）年、念佛道場として創建されたと伝えられる。はじめ浄土宗知恩院の末寺であったが、享保元（一七一六）年、円融融典上人の時、融通念佛宗に改宗。本堂伽藍の再建がなされた。平成十八（二〇〇六）年、本堂、山門、庫裡を新築し、現在に至る。御本尊は本山と同じく十一尊天得如来図である。鐘樓の梵鐘は大東亜戦争で供出の憂き目にあい、戦後に新鑄されたものであるが、本堂の梵鐘は寛延三（一七五〇）年に鑄造されたものである。

新たに平成十四年から「光明院寄席」を開催。演者は桂吉弥、笑



福亭鶴志を中心に十五回の実施を数える。壇信徒をはじめ一般の方も多く参加していただいております。毎回、満堂のにぎわいである。伝統を守りながら、新しい取り組みにチャレンジし、地域に根ざしたお寺を目指している。



れる。本堂もそれに先立ち平成十七年に一五〇年ぶりの大改修がなされ、ここに至る。  
北河内三十三か所の第二十番。大阪府民の森ハイキングコースの中にあり、春は桜の名所、初夏には螢が舞い、境内からは北摂から神戸六甲山系まで一望できる。

#### 紫雲山 本誓寺

枚方市茄子作二丁目十一番二二号  
往古の寺歴は不詳であるが、旧村に伝わる史誌によれば醍醐天皇元亨元（一三二二）年、当寺の住僧 休雅上人を以て中興となすと記されている。

休雅上人は元亨元年霜月、本山平野大念佛寺中興法明上人が山城八幡宮より、当村茄子作「本尊掛松」の地にて本宗宝物を授受された当日、当村乾甚兵衛邸にご宿泊の御、上人の命を受け堂宇を修築し以て中興の業を創せられた。

#### 西方山 極楽寺

交野市郡津五丁目四十六番十号  
西方山 極楽寺と号するこの寺は、阿弥陀三尊像を本尊とし、境内に堂庫裡、山門、地藏堂がある。

ある記録によると、誰の開基かは不明であるが貞和元（二三四五）年となっている。しかし大阪冬の陣（一六一四）年で東高野街道付近は戦略上の位置から戦禍に巻き込まれ焼失するが、元禄元（一六八八）年仮本堂が建立され、一七〇〇年代に入り歴代の住職が再興に励み、ほぼ寺院としての荘厳さを保つほどに完成され隆盛した。



明治三十二（一八九九）年  
老朽化が進み、明治三十五（一九〇二）年に再建される。



清月山 長徳寺  
枚方市宇山東町四の十八  
清月山長徳寺と号すこの寺は、元禄五（一六九二）年、京都円成寺成善（浄土宗の僧）の開基である。明和七（一七七〇）年四月三日に遷化した観蓮社雲誉察翁寂門大徳の代に大念佛宗（融通念佛宗）にかわった。

あり、庫裏と同時に旧堂の古材を利用して修築し現在に至る。  
当時の事歴縁起書類多数ありしも、南北戦乱および大阪両役の時、皆亡失せりとのことである。  
尚、元本尊掛松の地に在った、高德楽山上人勧進の御丈一丈余りの地藏尊が、明治十（一八七七）年に当寺に移安され利證顕著な尊像として、祈願来衆の絶えず地藏会の法事の如きは群衆肩摩、その振盛振りは本村行事中の第一とされた。  
昭和十三年に本宗有志の浄財にて地藏尊は元の本尊掛松の地に還御され、地廊整備され現在に至っている。



## 大念佛寺年中行事ご案内（八月～年末）

◎孟蘭盆・法界大施餓鬼  
八月十六日 午後七時

万灯会  
八月十六日 午後八時

◎大和御回在御出光  
九月九日 午前六時

大念佛寺から毎年大和地方に御本尊の天得如来の画軸を奉持し、鉦を叩きながら末寺と檀家の家々を回り、御祈祷と先祖供養を行います。

◎融通念仏会  
九月十六日 午前十一時

◎百万遍会  
九月十六日 午後一時

◎秋季彼岸会  
九月二十三日

◎亀鉦まつり  
十月十五日 午前十一時

◎胎内仏納骨法要  
十一月三日 午後一時・三時

◎十夜会  
十一月十四日 午後一時

◎大和御回在御帰院  
十二月十七日 午前十二時三十分

◎除夜法要  
十二月三十一日 午後十一時

◎定例布教  
毎月二十六日 午後一時三十分

◎瓦勸進のご案内  
一口二千円で本堂に於いて受けております。

◎写経のご案内  
毎月二十六日、午前九時三十分より午後三時まで、白雲閣にて写経（一卷千円）を行っております。

◎納骨のご案内  
本堂に於いて、午前九時三十分より午後四時まで年中無休で納骨を受け付けています。

◎胎内仏納骨法要  
お問い合わせ  
☎〇六―六七九―一〇〇二六

話せば心も 軽くなる  
大阪仏教テレビホン相談室  
仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。  
月曜日：日蓮宗  
火曜日：浄土宗・融通念佛宗  
水曜日：浄土真宗本願寺派・真宗大谷派  
木曜日：天台宗・真言宗  
金曜日：臨済宗・曹洞宗・黄檗宗  
（月曜日～金曜日）一月十四日、十二月二十四日（八月休）  
でんわ 〇六（六二四五）五二一〇  
午後二時～五時迄

融通念佛宗総本山  
大念佛寺  
法主 倍巖 良舜  
管長 吉村 暉英  
宗務総長 中江 慈光  
教学部長 岡田 眞澄  
庶務部長 北川 全宏  
財務部長